

「柴北川を愛する会」設立趣意書

唇が紫色になるまで泳いでいました。砂地に立つと、カマスカが足の裏をくすぐって逃げました。チョンカケを持って鮎を追っかけまわしました。かつての夏、柴北川には子供達の歓声と水しぶきがあがっていました。れんげの花が咲き乱れる春、蛍の乱舞する夏、稲穂の波が揺れる秋、霜柱を踏み、白い息を吐きながら子供達が登校する冬、春夏秋冬それぞれの景色・営みが柴北川流域にも見られました。自然のもたらす恵みや営みが、沢山の大切なことを教えてくれました。そして人々は優しく、決して自分本位では無かったような気がします。

然し、何時の頃からか、そのような風景が柴北川流域から少なくなってきました。決して「昔が良かった」と言うつもりは有りませんが、ほぼ軌を一にして経済が発展し、人々の暮らしが豊かになって行きました。と同時に、文明生活を送ることにより本来人々が持っていた思い遣りの心や、優しさといったものが失われそうになっているのが現状ではないでしょうか。豊かな自然と人々の心の有り様には、深い関係が有るように思えてなりません。

私達は、まだまだ沢山残されている柴北川流域の大切な自然環境を守り、保護し、育てながら未来へ繋ぎたいという思いと願いから集いました。どこまでやれるかは判りませんが、先ず、地道な清掃活動から始め、継続して行こうと思います。

平成18年 7月16日

設立発起人（五十音順）

穴見克美	安藤恒美	大塚松信	甲斐能美	後藤文彦
後藤憲一	高柳美子	樋口貞男	若杉隆則	渡邊雪法